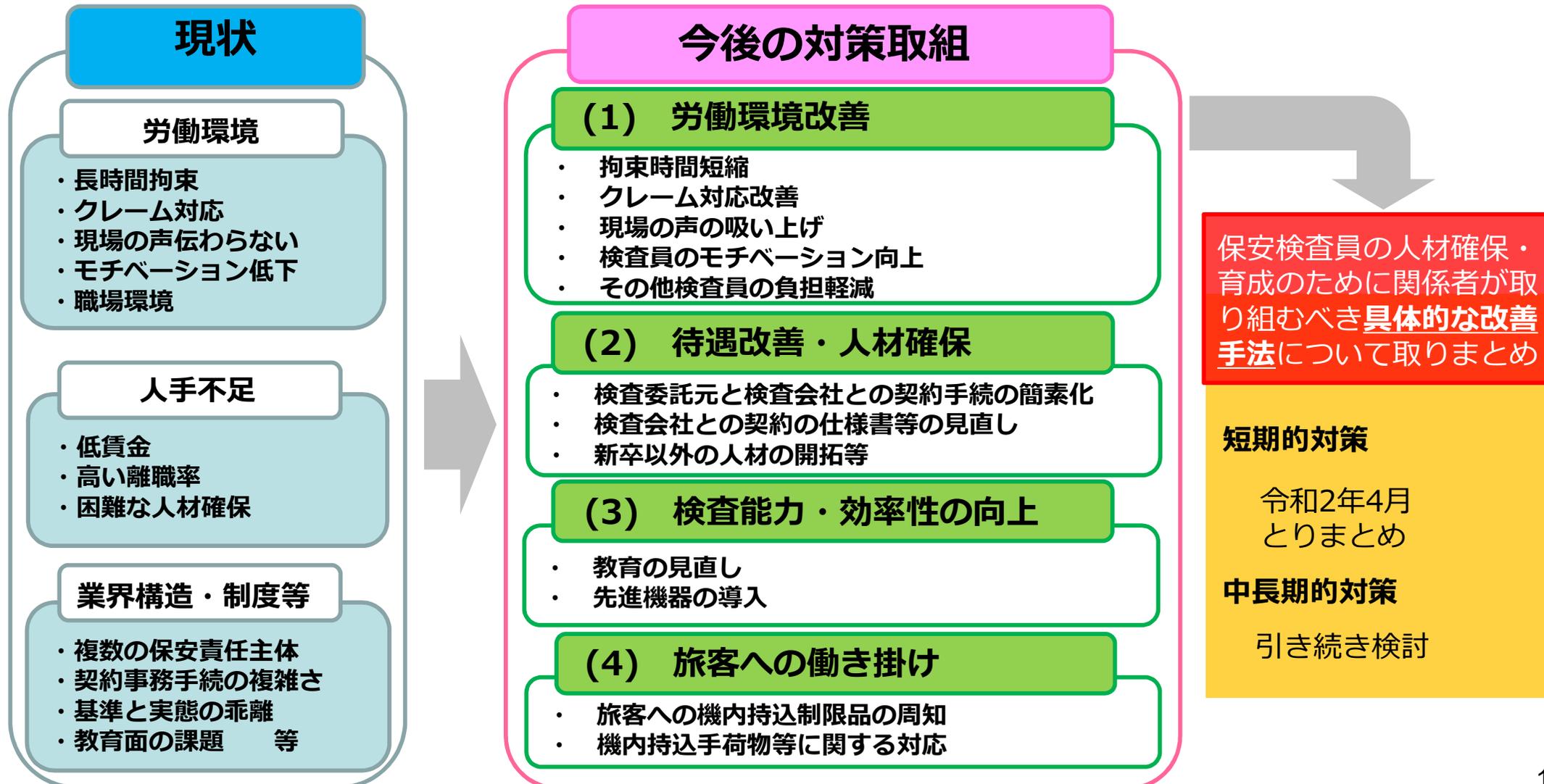


課題及び主な論点(案) について

令和2年6月19日
国土交通省 航空局

概要

- メンバーは、国(航空局)、航空会社、空港会社、検査会社等の関係者。
- 保安検査員の人材不足や保安検査トラブルの続発等を背景に、保安検査の抜本的な運用改善をするべく、現場の声も聞きながら、課題・要因の分析を実施。
- 関係者それぞれの立場で行うべき対策について、短期的取組として令和2年4月に取りまとめ。引き続き中長期的取組について検討を実施予定。



保安検査に係る課題について

我が国の保安検査に係る状況

保安検査トラブルの続発

(原因): モニター検査画像での判別能力不足
 検査員の持込制限範囲の認識ミス
 旅客の持込制限品の理解不足
 検査員間の連携不足・手順不徹底
 保安検査の受託者・委託者間における連携不足 等

保安検査を取り巻く課題

労働環境

人手不足

業界構造・制度等

今後の更なる情勢の変化

- オリパラ等テロのターゲットになりやすい大規模イベントの開催
- インバウンドを含めた今後の航空需要の増加

国際的なテロの脅威増加

これらのことを踏まえると、保安検査の「質」の高度化、増加する「量」への対応、旅客の利便性を両立させた適切かつ確実な保安検査を実現する必要がある。そのために、以下の観点から保安検査について包括的な検討を行うこととする。

①保安検査の位置付け

【具体的な課題】

保安検査の位置付けが分かりにくい面があるため、旅客の協力を得にくい場合や、旅客に対して強い姿勢で検査に臨みにくい面がある。

②保安検査の役割分担

【具体的な課題】

円滑な保安検査を実施するため、国、航空会社、空港管理者、検査会社の役割分担・連携を工夫する余地があるのではないか。

③保安検査の量的・質的向上

【具体的な課題】

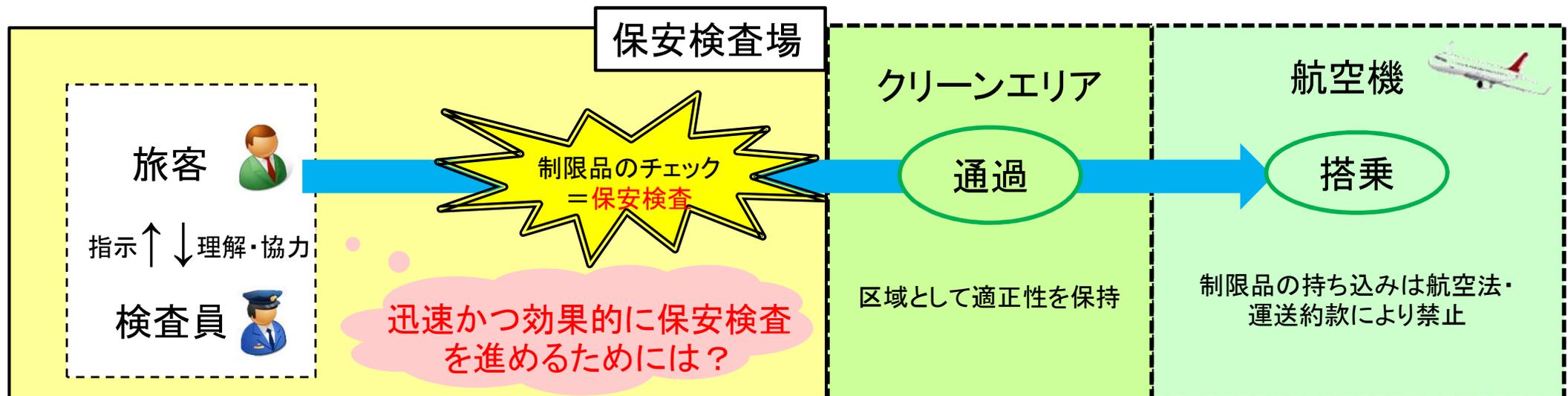
検査員の人材育成・確保、先端機器活用等の保安検査の量的・質的向上対策の推進及びそのための方策の必要性。

①保安検査の位置付けについて

【検討が必要と思われる点】(論点:案)

- 航空機内に危険物等の制限品を持ち込むことは、航空法・各社運送約款において禁止されている。
- 一方で、実質的には、保安検査場において制限品等のチェックが行われることとなるものであり、クリーンエリアの適正性を保ち、制限品が機内に持ち込まれないようにする観点から、重要なポイント。
- トレイに手荷物を置く、厚底の靴等を検査機に通す等の保安検査への準備、荷物開披の同意や制限品の廃棄などに関する理解・協力が必要不可欠。
- 機内に入る前段階にある保安検査を迅速かつ効果的に進めるためにはどうすればよいか。

※クリーンエリア:出発旅客が、保安検査終了から航空機搭乗までの間、通過する可能性のあるターミナルビル内の待合室、通路、売店等の場所。

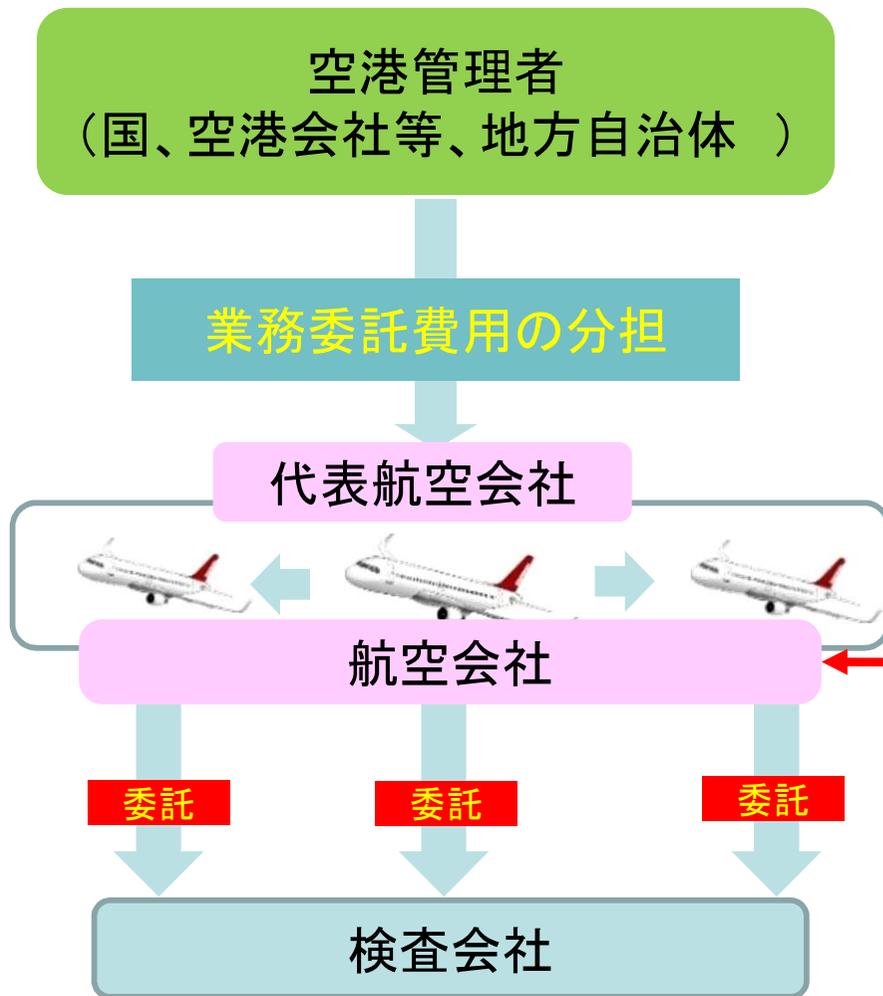


②保安検査に関する役割分担や連携について

【検討が必要と思われる点】(論点:案)

- 最終的に、機内に制限品を持ち込む事態をどのように効果的に回避するかがポイント。
- 自機のセキュリティの確保と責任とは、表裏一体である面を有している。
- 一方で、複数の航空会社と検査会社との契約関係が複雑になると、閑繁の差の吸収がしにくい等の効率性を損なう面があるとともに、連絡系統の漏れ、当事者意識の欠落等が発生するおそれもあるところ。
- 我が国の実情に照らして効果的なやり方を検討する必要。

②保安検査に関する役割分担や連携について



【メリットの例】

- 航空会社が自らの航空機のセキュリティを確保できる
- 保安検査場、機内、運航に関する状況を踏まえた判断を迅速に行うことができる
- 運航計画に応じた柔軟な検査レーンの運用、顧客サービスとしての優先レーンの運用等ができる

航空法第100条に基づき、保安検査の第一義的な責任を有する

【デメリットの例】

- 複数社が検査会社に委託する場合、契約関係が複雑となり、検査場で閑繁の吸収がしにくい等の効率性を損なう面がある。
- 航空会社以外の関係者も含め、連絡システムの漏れ、当事者意識の欠落等が発生するおそれがある。

- ・各航空会社が個別に検査会社と契約
(空港管理者の分担金は代表会社が分配)
- ・空港管理者は委託費用の一部を分担

我が国の実情に照らした効果的な役割分担・連携のあり方とは？

③保安検査の量的・質的向上

【検討が必要と思われる点】(論点:案)

- 保安検査には、必要な人材確保・教育訓練を通じたノウハウの蓄積等がポイントとなる。しかしながら、実質的な拘束時間が長い、通勤時間が公共交通機関が使いにくい時間帯になってしまうなど、労働環境・条件等が他業種と比較して十分に魅力あるものとなっていないところ。
- 加えて、今後の少子高齢化の進展を踏まえるとともに、ヒューマンエラーの発生を抑制し、迅速に精度の高い検査を実施していくためには、より自動化された精度の高い検査機器の導入が不可欠。
- こうした人材確保・育成、先端機器の導入を促進していく必要がある。



保安検査員の人材確保・育成と先進機器の導入を促進するためには？